

第1回作業部会報告

‘教育・子育て・国際交流’部会

当部会の基本理念

- 社会のグローバル化
- いじめ等の諸問題
- 格差社会の進行
- 社会が求める人材の多様化



自分の考え方をしっかりと持ち、それを他人に発信できる能力
自分と他者の違いを理解し、受け入れる能力



関係者が夢を持てる前向きな政策の提言

基本理念の達成に必要なもの

- 学校関係者の協力
- 区役所の協力
- 住民の協力
- 関係機関の協力



4者が協力し、各立場の意見を理解し尊重しながら、
一緒に議論して提案を作り上げる

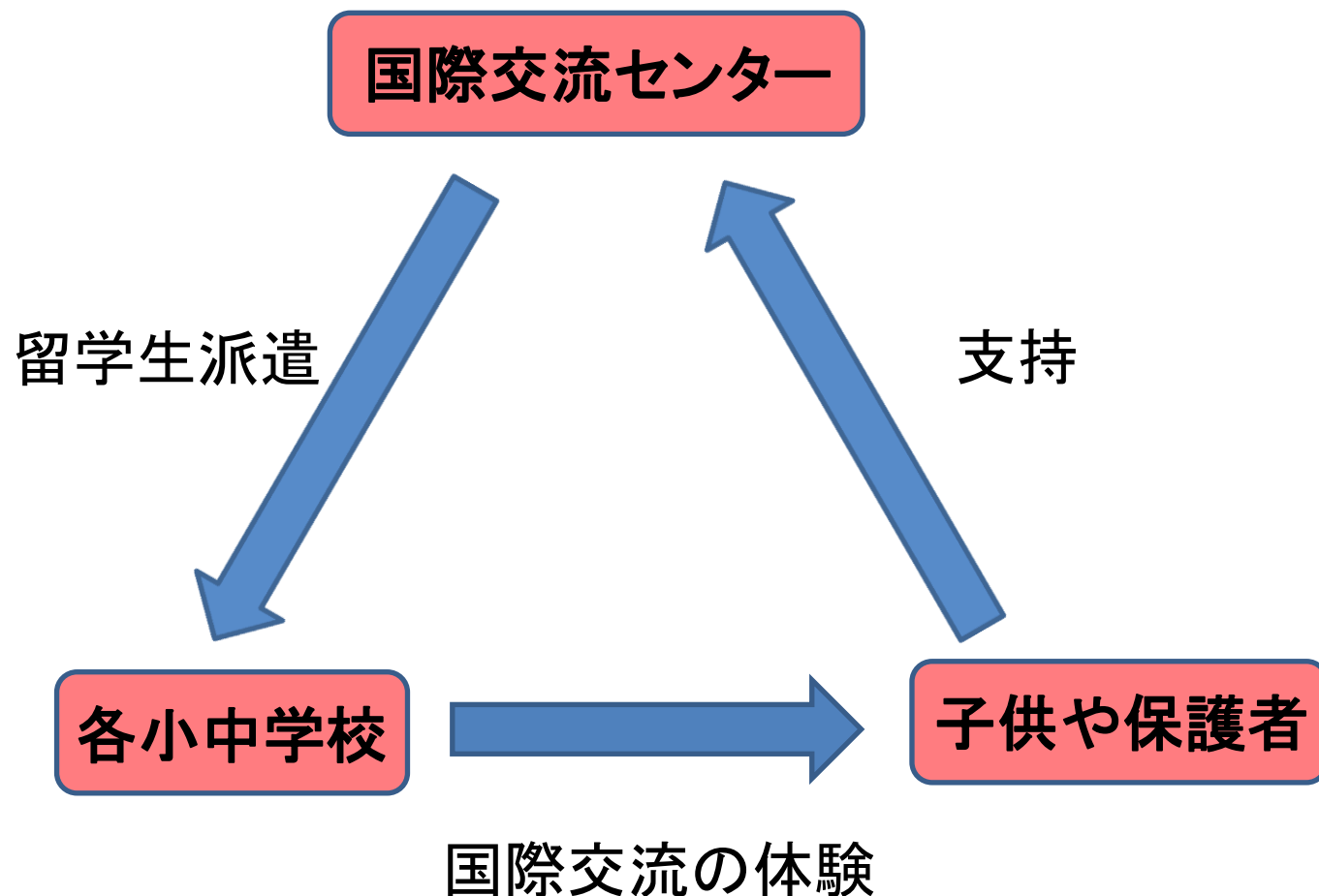
天王寺区の資源

- 高い生活水準
- 文教地区
- 国際交流センター



これらの相乗効果を引き出す政策

①国際交流の提案



①の提案による効果

- 英語圏のみならず中東や東南アジアの留学生や大使館員と交流することで異文化を肌で感じることができる
- 他者の違いを認め、受け入れる土壌を養うことができる
- 外国人に対しての苦手意識を少しでも弱くすることが期待できる

①の提案の効果を高めるために

- 民族衣装や民族の雑貨など視覚に訴えるものを多くする
- 各国の食物の試食なども検討する
- 子供が外国人と触れ合える時間を多くする
- 極力体験型にする



国際交流センターの全面的な協力と各学校の教員の先生方の協力が必要

①の提案の問題点

- 各学校の負担の増加
- 国際交流センターの人材派遣の負担
- 国際交流センターのメリット
- 複数校でスタートするかモデル校から始めるか

②寺子屋の設置(仮称)

- 経済的理由により、塾等に行くことができない子供たちに対するサポート？
- 勉強を教えることもさることながら、勉強に対する興味を起こさせることも大きな目的(例えば理科の実験教室等)になりうる？
- 近所のお兄ちゃんお姉ちゃんが教えてくれる程度の身近な存在の勉強サポートセンター？

②寺子屋に対するビジョン

- 寺子屋制度は区役所主導で実施
- 天王寺区の関連場所 or 学校施設
- 学力や経済的な問題を抱えた子供たちの援助
or
勉強などに対する興味を醸成

③垣根の低いボランティアの創出

- 近年、多様な障害を持った子が養護学校でない普通の学校に入学する状況が増加
- 介助等に人手が必要
- すぐに簡単な手続きでお願いできるボランティアの需要が多い
- ボランティアをしたいと思っている人も多い



そうだ、これらをくっつけよう!!

③垣根の低いボランティアの創出

- ある程度の人数は必要
- 留学生にも入ってもらえる組織
- 国際交流や区役所からの情報も届く
- 国際交流センターや区役所のサポーター



国際交流センターと区役所が旗印

今後の部会の方針

- 以上の3つの提案の細部を8月までに詰め、文章として提出する
- この3題以外にも適宜出てきた議題を解決すべく努力する
- 天王寺区の将来を見据えた‘夢’のある提言を行う

夕陽丘中学、桃陽小学校からの提案

- 学校対応窓口の一本化(天王寺区のSSWの設置)
- 国際交流の使いやすいシステムの構築
- 使いやすいボランティアのシステム